

平成 22 年度

年報

山口県文書館

目次

I 概要		22年度の刊行物	16
1 沿革	2	9 地方調査員	16
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	16
(2) 年表	2	(2) 地方調査員による文書調査報告実績	16
2 組織	9	(3) 地方調査員名簿	16
3 決算	9	10 広報・普及	17
4 施設	9	(1) 広報活動	17
		(2) 第5回中国四国地区アーカイブズウィーク	17
II 平成22年度業務報告		(3) 資料小展示	17
1 22年度概観	10	(4) 古文書入門講座	18
2 収蔵状況	11	(5) 古文書専修講座	18
3 調査	11	(6) 古文書活用講座	18
4 収集	11	(7) 行政文書保存管理研修会	18
(1) 諸家文書	11	(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議	18
(2) 行政文書	12	11 研究活動	19
(3) 行政資料	12	(1) 研究実績	19
5 整理	12	(2) 研究会等	19
(1) 藩政文書	12	12 その他	20
(2) 諸家文書	13	(1) 文書館情報発信充実事業（緊急雇用創出事業）	20
(3) 行政文書	13	(2) 全史料協事務局業務	20
(4) 行政資料	13	(3) 春季・秋季資料整理等	20
(5) 図書雑誌	13		
(6) その他（特設文庫）	13	III 平成23年度の計画	
6 保存対策	13	1 業務	22
(1) 修理	13	(1) 保存対策	22
(2) 絵図複製	13	(2) 刊行物	22
(3) 複製	13	(3) 普及活動	22
(4) 資料燻蒸	13	2 職員	23
(5) その他	14	3 地方調査員	23
7 利用	14	4 当初予算	23
(1) 文書館利用状況	14		
(2) ホームページ利用者数	14		
(3) 調査室（閲覧室）利用者数	14		
(4) 電子情報処理組織による申請等	14		
(5) 閲覧者数の状況	14		
(6) 閲覧文書点数の状況	15		
(7) 特別利用の状況	15		
(8) 貸出	15		
8 刊行物	16		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和 34 年 4 月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和 27 年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約 5 万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和 12 年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料 3 千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治 36 年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和 34 年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34. 4. 1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される	
10. 1	専任職員が配置される	
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始	
昭和35年度 (1960)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35. 4. 1	閲覧業務を開始する	
8. 1	三浦家文書受託	
11.30	「防長風土注進案 12 山口宰判上」刊行	
36. 3.10	「防長風土注進案 16 吉田宰判」刊行	
昭和36年度 (1961)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36. 5.16	田中義一文書受託	
6.15	「山口県文書館概要」刊行	
6.15	「防長風土注進案 1 大島宰判上」刊行	
8.31	「防長風土注進案 15 舟木宰判」刊行	
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催	
11.10	「防長風土注進案 13 山口宰判下」刊行	
12.10	「防長風土注進案 2 大島宰判下」刊行	
37. 1.31	「防長風土注進案 17 美祢宰判」刊行	
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行	
昭和37年度 (1962)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37. 4.20	「防長風土注進案 3 奥山代宰判」刊行	
6.30	「防長風土注進案 4 前山代宰判」刊行	
8. 8	徳山毛利家文庫受託	
9.20	「防長風土注進案 19 前大津宰判」刊行	
11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）	

11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案 5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始
38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
<hr/>	
昭和38年度 (1963) (館長 上村忠治<図書館長兼務>)	
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始 (「山口県文書取扱規程」に基づく)
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催 (～11.3)
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される (施行 39.4.1)
3.26	山口県文書館規則が改正される (施行 39.4.1)
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
<hr/>	
昭和39年度 (1964) (館長 上村忠治<図書館長兼務>-7.5-木原立美<図書館長兼務>)	
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催 (～10.18)
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
<hr/>	
昭和40年度 (1965) (館長 木原立美<図書館長兼務>)	
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始 (「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく)
9.20	「文書館ニュース 1号」刊行 (以後年刊)
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行 (以後不定期刊行)
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
<hr/>	
昭和41年度 (1966) (館長 兼清正徳)	
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第1巻」刊行
<hr/>	
昭和42年度 (1967) (館長 兼清正徳)	
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第2巻」刊行
<hr/>	
昭和43年度 (1968) (館長 兼清正徳)	
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる

昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される (職名は研究員・専門研究員)
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第3巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行
3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行
昭和46年度 (1971)	(館長 兼清正徳)
46. 6. 7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会 (西日本地区)」の会場となる
7. 1	地方調査員制度を発足させる
47. 3. 1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行 (以後年刊)
昭和47年度 (1972)	(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行
48. 3.20	「山口県史料古代編」刊行
昭和48年度 (1973)	(館長 松村茂)
48. 7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催 (～8.18)
49. 3. 1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行 (以後年刊)
昭和49年度 (1974)	(館長 松村茂)
49. 5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行
50. 1. 1	成人大学古文書解読講座に協力 (以後平成11年度まで)
昭和50年度 (1975)	(館長 田村武文)
51. 1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (通称全史料協) の創立大会を開催
昭和51年度 (1976)	(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会 (第1回) を開催
昭和52年度 (1977)	(館長 田村武文)
53. 2.22	古文書・行政文書取扱者講習会 (第2回) を開催
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行
昭和53年度 (1978)	(館長 田村武文)
54. 3.20	「山口県史料中世編 上」刊行
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行
昭和54年度 (1979)	(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行
5.～3.0	山口県古文書所在確認緊急調査を実施
10.17	全国都道府県史協議会を開催 (～10.18)
昭和55年度 (1980)	(館長 高佐原茂郷)
55. 6.17	有光家文書受贈
昭和56年度 (1981)	(館長 平田豊彦)
57. 2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行

昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58. 2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3. 0	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11. 1	古文書解説 (基礎) 講座を開催 (以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59. 2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (~10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	

3.30 開館 30 周年記念「山口県文書館の 30 年」刊行	
平成2年度 (1990)	(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行
平成3年度 (1991)	(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940 年代－1950 年代」刊行
平成4年度 (1992)	(館長 松永精一郎)
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される
8.13	古文書活用講座を開催 (~8.19、以後毎年)
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940 年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度 (1993)	(館長 松永精一郎)
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 1 柳井市金屋小田家文書第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 2 リーフレット・ポスター1940 年代～1960 年代」刊行
平成6年度 (1994)	(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 2 柳井市金屋小田家文書第 2 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930 年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度 (1995)	(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録 3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 3 地図 1950 年代まで」刊行
平成8年度 (1996)	(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計 4 回開催)
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20 年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度 (1997)	(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (~12 月、毎月展示替え)
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10. 2. 1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 4 1960 年代第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 5 佐藤家文書」刊行
平成10年度 (1998)	(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)
6.30	「大内版法華経板木」59 枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される
11. 1.21	第 1 回文書館ウィーク開催 (~1.27)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 5 1960 年代第 2 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 1 公儀事諸控総目次 I」刊行
平成11年度 (1999)	(館長 宮本典彦)

11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12. 1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
平成12年度（2000）	
12. 4. 1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13. 1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度（2001）	
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
平成14年度（2002）	
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館蔵品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）
12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録（近代）」刊行
15. 1.17	第2回文書館デイズ開催（～1.19）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
平成15年度（2003）	
15. 4. 1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16. 1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次Ⅰ」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
平成16年度（2004）	
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17. 1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
平成17年度（2005）	
17. 6. 9	山口県行政文書（県庁文書12,597点、郡役所文書952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18. 1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次Ⅱ」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書一」刊行
平成18年度（2006）	
18. 6. 1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）

10. 8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第 6 回文書館デイズ「御屋形様の文書－雪舟のパトロン大内氏－」開催（～11.12）
19. 1.19	第 2 回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊 5 諸事小々控総目次Ⅲ」刊行
3.30	「行政資料目録 10 リーフレット・ポスター 1970 年代～1980 年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	（館長 熊寄歳介）
19. 4. 1	日曜開館（月曜閉館）開始
6. 1	第 2 回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道に行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20. 1.18	第 3 回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録 8 平生町佐合島佐川家文書 第 1 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 1 山口県布達達書Ⅰ ー明治 4～10 年ー」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	（館長 熊寄歳介）
20. 6. 1	第 3 回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10. 1	資料小展示「天璋院篤姫と長州－文書の中の篤姫－」（～11.16）
21. 1.17	大学入試センター試験・日本史 A で当館のことが取り上げられる
3.21	第 4 回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図－長門国正吉郷入江塩浜絵図－）開催（～4.19）
3.31	「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ ー明治 11～14 年ー」刊行
<hr/>	
平成21年度（2009）	（館長 熊寄歳介）
（通年）	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏－戦国のアーカイブズ－」を開催（～6.9）
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財（歴史資料）に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示（「足利将軍の出した文書」～4.4）
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー」（開館 50 周年記念出版）刊行
<hr/>	
平成22年度（2010）	（館長 熊寄歳介）
（通年）	文書館情報発信充実事業
（通年）	全史料協事務局業務（副会長 館長熊寄歳介）
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催（～6.6）
8. 8	行政文書保存管理研修会を開催（102 機関 114 名参加）
10.15	国指定重要文化財（歴史資料）「日明貿易船旗」「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催（13 市町 30 名参加）
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ ー明治 15～19 年ー」刊行

2 組織（平成 22. 4. 1 現在）

館長（1名）—— 副館長（1名）—— 専門研究員（5名）
総務（兼務、3名）
嘱託職員・臨時職員（2名）
地方調査員（9名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
8,531	14,237	16,956	14,382	27,213	20,163

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下 2 層>

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

Ⅱ 平成 22 年度業務報告

1 22 年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6月1日(火)～6日(日)に第5回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国のアーカイブズ7館がおおむね6月に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、「アーカイブズ展示」として「長州藩幕末維新資料」、「歴史探究講座」として「坂本龍馬と下関」、「ギャラリートーク」、「アーカイブズ歴史小話」、「文書館を使ってみよう!」などを行った。→P17

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。→P16

収集

平成22年度には7氏から7件649点の寄贈、2氏から2件721点の寄託を受けた。→P11

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書361点、行政資料9,565点を引き継いだ。→P12

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書も整理を進めた。→P12

資料の活用と保存を図るため、利用頻度の高い絵図及び文書の写真複製を行った。また、毛利家文庫のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P13

目録出版

例年の刊行物のほか、『行政文書件名目録3 山口県布達達書Ⅲ 一明治15～19年一』を刊行した。→P16

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

古文書講座

例年どおり、「古文書入門講座」と「古文書専修講座」についてはそれぞれ通年12回、教員対象の「古文書活用講座」は8月に4日連続で実施した。→P18

行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。→P18

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関し

て、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を立ち上げた。→P18

文書館情報発信充実事業（緊急雇用創出事業）

国の緊急雇用創出事業として、平成 21 年度から 3 年計画で実施している。→P20

利用者

日曜開館に踏み切って 5 年目となる今年度の閲覧者は、2,372 人（昨年度 2,811 人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は 5,926 人（昨年度 6,042 人）であった。閲覧者は一般、公務員、学生、教員の順に多く、とりわけ県史編纂関係者の利用が目立った。→P14

2 収蔵状況

（平成 23. 3.31 現在）

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	121,646	76,550	139,894	39,584	21,732	492,918

上記のうち、22 年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	1,370	361	9,565	914	21	12,243

3 調査

12 月 7 日、1 月 20 日 尾崎家文書（防府市）
 1 月 21 日 兼田家文書（下松市）
 3 月 24 日 堀江家文書（岩国市）

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

大田家文書（山口市） 54 点
 佐伯隆収集史料（山口市） 49 点
 栗林家文書（山口市） 84 点
 杉山家文書（山口市） 23 点
 南家文書（山口市） 110 点
 山本家文書（周南市） 185 点
 兼田家文書（下松市） 144 点
 （計 649 点）

(イ) 寄託

高洲家文書（萩市） 443 点
 中村家文書（山口市） 278 点
 （計 721 点）

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼を行い、361点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

市町課	79点
畜産振興課	48点
統計分析課	32点

(3) 行政資料

・冊子	6,353点
・リーフレット類	2,845点
・ポスター類	367点
・地図類	—
・図面類	—
・35mmネガフィルム	—
・写真資料	—
・16mm映画フィルム	—
・ビデオテープ	—
・録音テープ	—

(計 9,565点)

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 毛利家文庫

遠用物のうち近世後期の整理を一部行った。

(イ) 徳山毛利家文庫

引き続き未整理の書状類の整理を進めた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	所在	内容等	点数
大田家文書	山口市	吉敷毛利家家臣	54
兼田家文書	下松市	畔頭、戸長	144
栗林家文書	山口市	畔頭	84
佐伯隆収集文書	山口市	収集資料、椿家文書	49
杉山家文書	山口市	家計簿	23
高須家文書	萩市	萩藩士、国指定重文	443
中村家文書	山口市	予科練関係、教科書	278
南家文書	山口市	陸軍軍人	110
山本家文書	周南市	家政関係	185

(計 1,370点)

(3) 行政文書

(ア) 平成22年度収集文書361点について、仮目録を作成した。

(イ) 『行政文書件名目録3 山口県布達達書Ⅲ 一明治15～19年一』を刊行した。

(4) 行政資料

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・冊子	6,353 点
・リーフレット	2,845 点
・ポスター類	367 点
・地図類	—
・図面類	—
・写真資料	—
・16 mm映画フィルム	—
・35 mmネガフィルム	—
・35 mmスライドフィルム	—
・ビデオテープ	—
・録音テープ	—
	(9,565 点)

(5) 図書雑誌 914 点

(6) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	18 点
・教科書文庫	—
・雑誌文庫	—
・文化財文庫	—
・複写資料（地下上申絵図）	3 点

6 保存対策

(1) 修理

毛利家文庫・罪科のうち損傷の著しい「常御仕置帳」1冊を岡山市の（株）ヤマキに業務委託し修理した。

(2) 絵図複製

「地下上申絵図」清図のうち以下の3点について、名古屋市の中カシャクリエイティブ株式会社に業務委託し、閲覧用の複製物（高精度カラー印刷）を作成した。

No 91	横見村
No 139	大原村
No 148	波野村

(3) 複製

徳山毛利家文庫「譜録」のマイクロフィルムからのプリントを行い、写真複製を行った。

(4) 資料燻蒸

新収資料の高洲家文書、中村家文書や毛利家文庫・絵図など17件（ダンボール箱73箱分）の燻蒸を仮設の天幕燻蒸式で業者（山陽クリーンサービス（有））に委託し実施した。（11.19～22）

(5) その他

旧視聴覚センターに保管する映像フィルムについて、巻き戻しの風通し作業を行った。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 269日 (前年度 262日)
入館者 5,926人 (前年度 6,042人)
閲覧者 2,372人 (前年度 2,811人)であった。

なお、日曜開館の閲覧者実績は、平均 6.6人 (前年度 8.1人)、平日の閲覧者実績は 9.7人 (同 11.4人)、土曜日は 8.1人 (同 11.0人)であり、全体の平均は 8.8人 (同 10.7人)であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下 (5) 及び (6) のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 23 年 3 月末現在で 245,637 件 (この 1 年間では 40,804 件) となった

(3) 調査室 (閲覧室) 利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H22年度	5,926	2,372	H22年度	1,351	229	117	1,697
(H21年度)	(6,042)	(2,811)	(H21年度)	(1,395)	(376)	(177)	(1,948)

(4) 電子情報処理組織による申請等

文書掲載等承認の手続きとして、利用者の便宜を図る観点から利用規定を改正し、平成 18 年 9 月 1 日から電子申請ができることにしている。

(5) 閲覧者数の状況

職業		平成 22 年度				平成 21 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率	合計 (人)	比率
教員	大学	89	145	234	9.9%	256	9.1%
	小・中・高校	82	1	83	3.5%	109	3.9%
	その他	5	1	6	0.3%	3	0.1%
学生	大学院	18	101	119	5.0%	110	3.9%
	大学・その他	347	90	437	18.4%	451	16.0%
公務員	国	10	11	21	0.9%	3	0.1%
	都道府県	318	36	354	14.9%	583	20.7%
	市町村	150	40	190	8.0%	158	5.6%
博物館・研究機関		25	29	54	2.3%	40	1.4%
報道・出版		20	22	42	1.8%	36	1.3%
その他一般		711	121	832	35.1%	1,062	37.8%
合計		1,775	597	2,372	100.0%	2,811	100.0%
前年度比		-422	-17	-439			
S44~H22 年度累計		58,291	19,864	78,252			

(6) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 22 年度		平成 21 年度	
	点数	比率	点数	比率
毛利家文庫	10,544	39.2%	9,352	36.0%
徳山毛利家文庫	420	1.6%	744	2.9%
県庁伝来旧藩記録	503	1.9%	571	2.2%
山口小郡宰判記録	16	0.1%	25	0.1%
郡役所文書	160	0.6%	98	0.4%
行政文書	4,258	15.8%	3,783	14.6%
行政資料	2,933	10.9%	3,350	12.9%
諸家文書	3,282	12.2%	4,435	17.1%
三卿伝史料	47	0.2%	454	1.7%
両公伝史料	1,715	6.4%	1,759	6.8%
県史編纂所史料	191	0.7%	269	1.0%
一般郷土史料	209	0.8%	220	0.8%
軸物資料	222	0.8%	62	0.2%
複写資料	2,234	8.3%	780	3.0%
図書	151	0.6%	40	0.2%
その他	7	0.0%	11	0.0%
合計	26,892	100.0%	25,953	100.0%
S44～H22 年度累計	813,123			

(7) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
H22 年度	42	1,351	231	0	11	987
(H21 年度)	(56)	(1,395)	(221)	(0)	(6)	(1,101)

(8) 貸出

安城市歴史博物館	企画展「風まかせ 東海道中」 7/17～9/5 (毛利家文庫 2 点)
山口県立美術館	県立美術館コレクション展特別企画「山口の絵図」 9/16～10/11 (毛利家文庫ほか 4 点)
名古屋市博物館	名古屋開府 400 年記念特別展「変革のとき 桃山」 9/25～11/7 (毛利家文庫 2 点)
山口市歴史民俗資料館	山口開府 650 年記念特別企画展 「『大内の京』二〇〇年ー山口の栄枯盛衰」 10/5～11/28 (興隆寺文書ほか 9 点)
山口県立山口博物館	重要文化財指定記念特別展示「日明貿易船旗・高洲家文書」 11/2～11/28 (高洲家文書 7 点)
財団法人 徳川黎明会徳川美術館	名古屋開府 400 年 徳川美術館・蓬左文庫開館 75 周年 記念特別展「国宝 初音の調度」 11/13～12/12 (毛利家文庫 4 点)

長崎歴史文化博物館	長崎歴史文化博物館 開館 5 周年記念・長崎国際テレビ開局 20 周年記念特別展 「岩崎彌太郎－三菱の誕生と岩崎家ゆかりのコレクション－」 11/19～1/10 (武田家文書ほか 2 点)
周南市美術博物館	周南市美術博物館開館 15 周年記念 「開府 360 年凜－徳山毛利家」 11/26～1/16 (宍戸家文書ほか 4 点)
下関市立長府博物館	企画展「長府毛利十四代記」 1/29～2/27 (毛利家文庫ほか 6 点)
小田原市郷土文化館	特別展「都市 おだわらの創生」 2/5～2/27 (毛利家文庫 1 点)
下関市立美術館	企画展「没後 80 年高島北海展」 2/11～3/21 (軸物類ほか 4 点)

8 刊行物

22 年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 38 号 (H23.3.31 発行)
A5 判 141 頁 500 部印刷
- ② 『文書館ニュース』第 45 号 (H23.3.31 発行)
A4 判 8 頁 2,500 部印刷
- ③ 『行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ 一明治 15～19 年一』 (H23.3.31 発行)
B5 判 218 頁 500 部印刷

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

- 第 1 回 平成 22 年 9 月 3 日 (金) 県立山口図書館第 1 研修室
・調査員活動報告
・研修「歴史資料としての古写真・絵はがき」専門研究員 山崎一郎
- 第 2 回 平成 23 年 3 月 2 日 (水) 県立山口図書館第 1 研修室
・調査員活動報告
・研修「氏神とウブスナ」副館長 金谷匡人

(2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から 23 件、1,799 点の調査報告があった。

(3) 地方調査員名簿 (任期 平成 21.4.1～平成 23.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	惠本 洋嗣	美祢	吉村 徹
熊毛	林 芙美夫	豊浦	安富 静夫
都濃	佐伯 隆	大津	岸崎 和夫
佐波	重枝 慎三	阿武	寺山 忠満
吉敷	佐久間 努		

10 広報・普及

(1) 広報活動

『文書館ニュース』第45号(A4判8頁)を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第5回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日(火)～6日(日)実施。参加者は延べ984人。詳細は以下のとおり。

＜アーカイブズ展示＞6月1日(火)～6日(日) (文書館閲覧室)

「長州藩幕末維新資料」

参加者514人。

＜歴史探究講座＞6月5日(土) (県立山口図書館レクチャールーム)

「坂本龍馬と下関」

参加者247人。

＜ギャラリートーク＞6月5日(土)・6日(日) (文書館閲覧室)

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った(計5回)。

参加者120人。

＜文書館を使ってみよう！＞6月1日(火) (県立山口図書館第1研修室)

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者9人。

＜アーカイブズ歴史小話＞6月4日(金) (県立山口図書館第1研修室)

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者28人。

＜書庫見学ツアー＞6月1日(火)～6日(日) (文書館書庫)

専門研究員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。(計14回)

参加者66人。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4/6～4/28	「萩藩一門穴戸家の花押」5点	山崎
5/1～5/23	「スポーツ時代史展Ⅱ 免許皆伝の書」2点	山本
6/8～6/29	「徳山毛利「譜録」を作る(1)」2点	吉田
7/1～7/29	「高杉晋作の書状」1点	山田
7/31～8/29	「津和野藩医の手紙」3点	和田
9/1～9/29	「文政11年の大風」5点	吉積
10/1～10/28	「萩藩一門穴戸家と家臣 －何を伝えた？御書・奉書・御意書－」3点	山崎
10/30～11/14	「大正時代の運動会」12点	山本
11/26～12/26	「徳山毛利「譜録」を作る(2)」5点	吉田
1/5～1/27	「幕末・明治期の古写真」	山田
1/29～3/3	「足利将軍の出した文書(3)」2点	和田
3/4～4/3	「開国(1) ロシアの接近」5点	金谷

(4) 古文書入門講座（於：県立山口図書館第1研修室）

古文書入門講座を毎月1回、第4土曜日（14時～16時）に開催した。今年度も申込者が多く、抽選の上、受講者30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
4月～7月	古文書に慣れよう (1)～(4)	山田
8月～11月	古文書を読んでみよう (1)～(4)	山本
12月～3月	古文書を読み進めよう (1)～(4)	金谷

(5) 古文書専修講座（於：県立山口図書館第1研修室）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、毎月1回、第2土曜日（14時～16時）に開催した。受講者は、抽選の上30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
4月～7月	徳山毛利家文庫 諸役2「御出世砌大要記」を読む	吉田
8月～11月	中世の文書を読む (1)～(4)	和田
12月～3月	いろいろな文字を読むⅡ (1)～(4)	山崎

(6) 古文書活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、古文書の基礎知識や読解力の習得を通じて古文書への関心を深め、学校教育に古文書を活用する契機を提供することを目的に、8月3～6日の4日間、集中して実施した。受講者は12名で、その内容は次のとおり。

日程	午前（9時30分～12時）	午後（13時～16時）
8月3日（火）	開講 文書館の活動について（金谷）	古文書の基礎知識（山本）
4日（水）	古文書解読に挑戦 1（和田）	古文書解読に挑戦 2（吉田）
5日（木）	古文書解読に挑戦 3（山崎）	絵図・地図に親しむ（山田）
6日（金）	資料の活用方法 1 絵図を片手に街を歩こう （山崎・吉田・山本）	資料の活用方法 2 各自のテーマに関する資料を集めてみよう 閉講

(7) 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。

8月18日に実施し、102機関114名の参加があった。

(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を立ち上げた。

2月18日に実施し、13市町30名の参加があった。

11 研究活動

(1) 研究実績

- ・金谷匡人
 - 「平生湾岸小史」 「田布施地方史研究会 会誌」第174号（平成23年1月）
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編ーの試み」
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
- ・山田 稔
 - 「萩藩絵図方関係年表」 『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
 - 「山口県文書館所蔵絵図調査研究報告 1 絵図群の伝来と特質」（共著）『東京大学史料編纂所研究紀要』21号（平成23年3月）
- ・和田秀作
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編ー」の試み
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
- ・山崎一郎
 - 「萩藩密用方と中山又八郎の活動について
ー藩主重就期における密用方設置前後の動向ー」
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
- ・山本明史
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編ー」の試み
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
- ・吉田真夫
 - 「近世大名の呼称についてー萩藩を事例としてー」
『山口県地方史研究』第103号（平成22年6月）
 - 「徳山毛利家文庫「譜録」について（その二）」
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
- ・吉積久年
 - 「山口県の文化財行政に携わって～30年の歳月～」
『山口県文化財』第41号（平成22年11月）
 - 「近世入浴文化史考ー徳山毛利家文庫「御蔵本日記」から読む」
『山口県文書館研究紀要』第38号（平成23年3月）
 - 「洞春寺開山手拓本の修理に携わって」
『洞春寺開山嘯岳鼎虎禅師手沢本保存修理報告書』（平成23年3月）

(2) 研究会等

- ・金谷匡人
 - 梅光学院大学地域文化研究所第68回研究例会講演「もうひとつのニッポン」（9/18）
 - 山口大学埋蔵文化財資料館×梅光学院大学博物館 博学連携シンポジウム『中国・四国地区の大学博物館』第2部「いま大学の博物館が求められているもの」パネラー（11/27）
 - 平成22年度第2回地方調査員会議研修講話「氏神とウブスナ」（3/2）
- ・山田 稔
 - NHK 情報維新やまぐち・長州歴史館「吉田松陰ってどんな顔？」（5/19）
 - 同「幕末のガラス写真」（9/16）
 - 山口県川柳大会講演「吉田松陰自賛肖像について」（9/26）
 - 明治維新お宝めぐりプロジェクトチーム会議（10/13、12/22）

第 112 回山口県地方史研究大会「山口御屋形関係史跡巡見解説」(11/7)

鴻ノ峯学級講演「長州ファイブについて」(12/14)

・和田秀作

山口市歴史民俗資料館特別企画展「『大内の京』二〇〇年」特別講演「大内氏の惣庶関係をめぐって」(11/14)

雪舟研究会シンポジウム「文明 18 年の雪舟と大内氏」(11/27)

・山崎一郎

国文学研究資料館「幕藩政アーカイブズの総合的調査・研究」(5/29、8/27、11/3、2/19)

同・基幹研究「近世地域アーカイブズの構造と特質」(5/30、8/26、1/15)

同上報告「毛利家文庫の形成過程と文書群構造」(8/26)

文化庁「第 1 回近代行政文書の保存利用にかかる意見聴取」(10/1)

平成 22 年度第 1 回地方調査員会議研修「歴史資料としての古写真・絵はがき」(9/3)

光地方史研究会古文書解読講座講演「歴史資料としての古写真・絵はがき～山口県文書館所蔵の古写真・絵はがき～」(3/6)

・山本明史

山口県立美術館 HERT2010 関連企画ワークショップ「絵図を片手に街を歩こう」講師(10/2)

12 その他

(1) 文書館情報発信充実事業(緊急雇用創出事業)

国の緊急雇用創出事業として、平成 21 年度から 3 年計画で実施している。

【平成 21 年度】

(ア) 写真・絵はがきのデータベース化・デジタル化及びホームページへのアップロード
(山口菱洋システム株式会社に委託)

・行政資料写真、諸家文書写真・絵はがき約 15,000 点

(イ) 毛利家文庫等のデジタル撮影(シルバー人材センター委託)

・毛利家文庫・両公伝史料など 1,152 冊

(ウ) 情報発信のためのクリーニング作業(シルバー人材センター委託)

・徳山毛利家文庫 6,610 冊

【平成 22 年度】

(ア) 検索用データ入力作業

・閲録別巻データ、譜録所収中世文書データ、山口県内所在史料目録データなど 11 種類の検索用データの入力作業

(イ) 毛利家文庫等のデジタル撮影

・「給録」等 528 冊

(ウ) 行政資料のデータ入力及び整理

・1970 年代・1980 年代・1990 年代追加資料など約 19,000 点

(2) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会副会長事務局業務

平成 21 年度及び平成 22 年度、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)の副会長事務局を引き受け、国際交流事務を担当した。

(3) 春季・秋季資料整理等

5月25～31日 春季資料整理期間
11月16～25日 秋季資料整理期間・資料調査期間

Ⅲ 平成 23 年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

国指定重要文化財 山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 22 年度）』のデジタル刊行

『山口県文書館研究紀要』第 39 号の刊行

『文書館ニュース』第 46 号の発行

『藩政文書件名目録』の刊行

(3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

平成 23 年 6 月 1 日（水）～5 日（日）

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

古文書講座

古文書入門講座（定員 30 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 4 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書専修講座（定員 30 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書実践講座（定員 20 名）

会期 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書活用講座

会期 平成 23 年 8 月 2 日（火）～5 日（金）

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関の担当者）

2 職員（平成 23.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	熊寄 歳介	館務統轄
副館長	金谷 匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山田 稔	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	和田 秀作	諸家文書に関すること
〃	山崎 一郎	藩政文書に関すること
〃	山本 明史	行政資料に関すること
〃	伊藤 一晴	行政文書に関すること
（兼）総務管理グループリーダー	川越 裕之	庶務会計等
（兼）主事	内田 達志	〃
嘱託職員	吉積 久年	文書整理
臨時職員	伊藤 千絵	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 23.4.1～平成 25.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
岩国・柳井・和木	惠本 洋嗣	山口	佐久間 努
周南・下松・田布施・周防大島	佐伯 隆	山陽小野田・美祢・下関	吉本 一雄
防府・佐波	重枝 慎三	萩・阿武ほか	寺山 忠満

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	8,191	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,384	文書の整理等
文化事業費	2,440	古文書講座・文書の修復等
文書館情報発信充実事業	11,453	データベース入力・整理
合計	24,468	